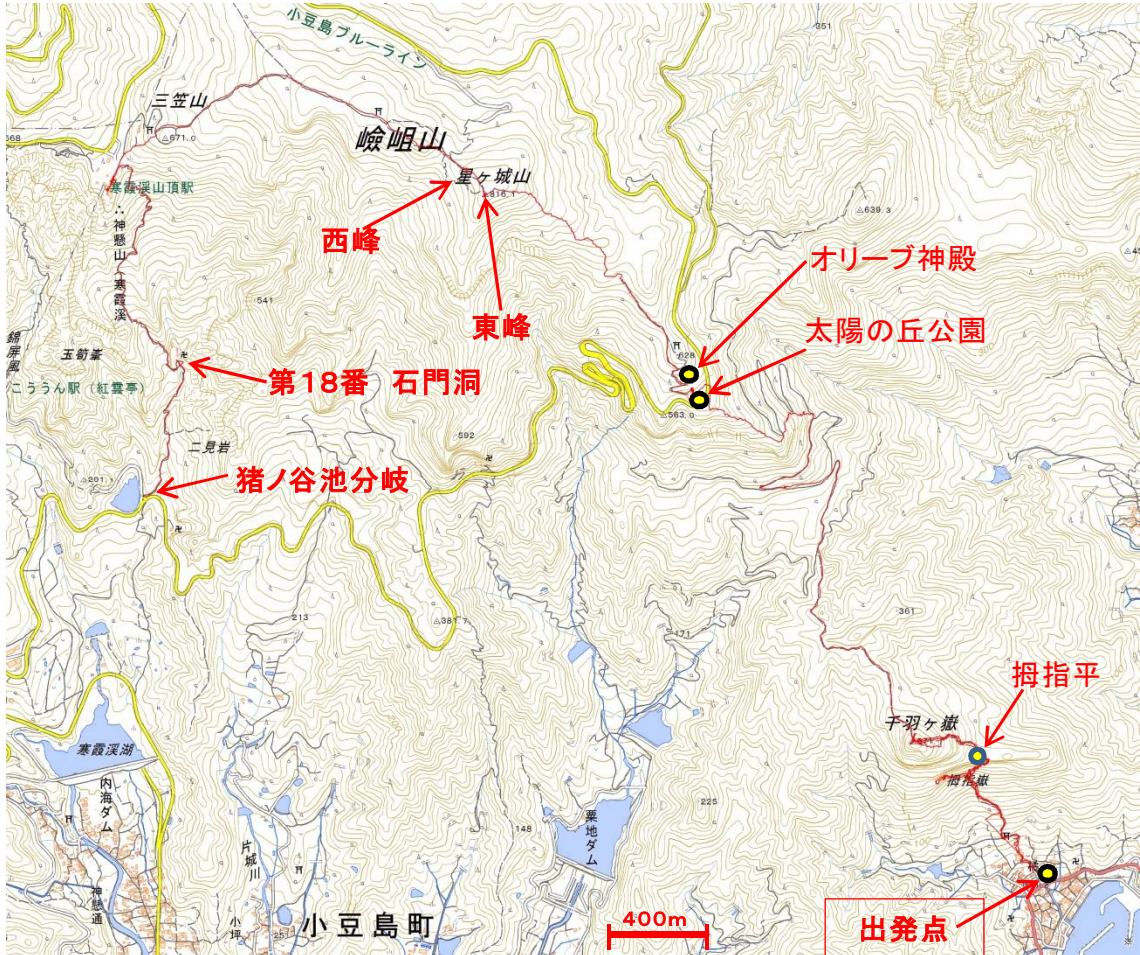


① — ③ 小豆島 <sup>せんばがだけ</sup>千羽ヶ嶽371.1m ~ <sup>ほしがじょうさん</sup>星ヶ城山816.1m 2015年3月21~22日



**【1日目】3月21日 千羽ヶ嶽、拇指岳見学**

高松港土庄フェリー08:02発 == 土庄港着 09:05 == 09:40 マルナカ内海店 == 10:05 小豆島町橋バス停・旭幼稚園 10:12……荒神宮 10:16……岩場基部分岐 10:40……拇指平 10:57……11:30 千羽ヶ嶽 11:40……13:00 拇指岳岩場取り付き部 13:06……13:40 橋港に下山 == 14:10 吉田ダム == 14:30 吉田オートキャンプ場 テント泊

小豆島町橋バス停近くの旭幼稚園から10時過ぎに出発。細い路地を登ると荒神宮がある。クスノキの大木のある境内を右に抜け、林道に出てまもなく林道右側の石垣に赤ペンキマーク・拇指岳↑(白ペンキ標識)から登山道に入り雑木林の斜面を登る。拇指岳岩場への分岐を右に取り、岩壁に沿って登る。急斜面にはロープが張られており、岩に赤ペンキでマーキングが施されており解りやすい。11時前に拇指平に到着し一本。拇指岳(高さ100m)が右手間近に迫り、クライマーが頂上や岩壁に取り付いているの見える。南に



橋港と街並みを望み、背後に目を移すと千羽ヶ嶽全



拇指平から見た拇指岳

体が岩肌に覆われている。千羽ヶ嶽には東側の雑木林の斜面から登って行くと、岩肌がは



千羽ヶ嶽手前の岩場

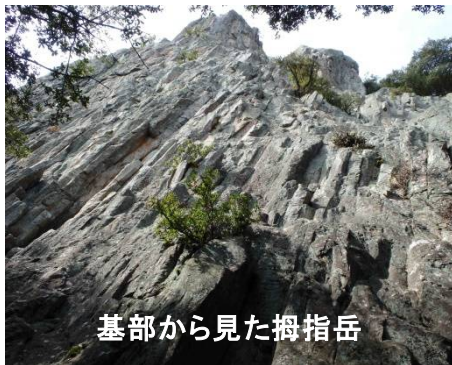
だけた急斜面が2箇所あり、岩清水がしみ出ているところは滑りやすい。ロープを頼りに登り、再び雑木林の中を登っていくと左手の木陰から千

羽ヶ嶽の小高い岩の頂上が見えて来た。

11時半千羽ヶ嶽(371.4m)に到着し、頂上から草壁港の街並みが一望出来、拇指岳岩稜の頂上部分だけが頭を出している。明日に備えて星ヶ城山への縦走路を探したが、低木が茂ってなかなか見つからない。西尾根に沿って探したが行き止まり、頂上付近に戻り北尾根筋を探していたら、少し下ったところの立木に赤テープを見つ



拇指平



基部から見た拇指岳

け縦走路を確認して下山した。下山途中、拇指岳の岩場取付き基部に立ち寄った。クライマーが登る岩壁を見上げると、ほぼ垂直にそそり立っており、2年前登ったY・翔君が「怖かった!!」と言っていたことを思い出して改めて納得した。同行した仲間尋ねると「若いころ登ったことある」と聞き、今更ながら感心する。橋港に下山して、今日の宿泊地吉田キャンプ場に向かう。明日、星ヶ城縦走に備えて今夜はテント泊まりだ。

【2日目】3月22日 千羽ヶ嶽～星ヶ城山縦走

吉田キャンプ場発 06:20==橋集落 06:45……拇指平 07:30……千羽ヶ嶽 07:55……ブルーライン寒霞渓道路「太陽の丘」10:00……オリーブ神殿 10:10……11:06 星ヶ城山 11:25……11:42 西峰……12:07 三笠広場・裏八景遊歩道 12:27……石門……幟岩……猪の谷池分岐 13:12…草壁港 14:10==マルキン醤油==土庄港 16:30 発==高松港

吉田キャンプ場を早めに出発して、06:45 橋集落・旭幼稚園から登山開始した。昨日登ったルート、荒神宮を経て拇指平で一本とり8時前に千羽ヶ嶽に到着した。

千羽ヶ嶽から右に折れ、北尾根をテープ頼りに下る。北側のピーク373mを左に巻いて檜の植林を抜けると8時半林道に出た。林道は余り利用されていないのか、凸凹道で手入れが行き届いていない。途中、左側の壁にペンキマークが1ヶ所あっただけでマーキングを探しながら、つづら折りの林道をしばらく登る。9時過ぎ林道三回目の曲がり角(林道の分岐?)を過ぎて、直ぐ左側の立木にテープマークをようやく見つけ、再び登山道に



オリーブ神殿



句碑の森

入る。尾根に出てすすむと茅原に阻まれる。茅が茂る土手を掻き分け登り、ブルーライン寒霞渓道路に出た。道路沿いに「太陽の丘」公園があって、大汗を拭い休憩する。「太陽の丘」はずいぶん前から休業状態のようで遊具は錆び付いていた。ここにもまたリゾート開発ブーム時期の影を落としている。

10時過ぎ峰惺(オリーブ) 神殿の左側から「句碑の森」を抜けて、神社の鳥居を右にやり過ごし、防火帯の

ような幅の広い道に出た。余り登らないのだろうか踏み跡は残っていない。途中、横縞模様の緑っぽい堆積岩を見て、居館跡標識あたりで空が開けてきた。まもなく立木に赤テープが見つかり、頂上台地に出た。星ヶ城東出隅を経て11時過ぎ星ヶ城山山頂(816.1m)に到着した。頂上には祭祀遺構があり曲線状の石畳で囲まれている。中央に石薄板を高く積み重ねたドーム型の祠がユニークだ。その後方に一等三角点標識がある。帰りの時間を考えて20分程で東峰を下りはじめた直後、紅葉亭から登って来た日帰り組4



星ヶ城 祭祀遺構

人と出会った。

エールを交換し、西峰に向かう。西峰の巨岩を敷き並べたような展望所から寒霞渓を一望した。霞がかかり景色はイマイチ…だった。すぐ西側に石畳で囲まれた西峰阿豆枳(あずき)島神社があり鎮座 200 年と掲示がある。さらに西に下ると星ヶ城神社、12時過ぎに三笠広場におりてきた。連休とあって観光客で賑わっており一時観光気分を味わう。



西峰展望所

12時半、広場東側の「裏八景遊歩道」入口

から、石畳の遊歩道を下る。しばらくして石門がありそこをくぐると、第 18 番石門洞が岩肌に建立されていた。石門洞に参拝し、遊歩道沿いにある幟岩(のぼりいわ)、二見岩等奇岩を見て猪の谷池分岐に出る。バス停で時刻表を見た処、バスは出た後で草壁港まで歩く。昨年完成した内海ダムまで



のぼり だけ 岳

近道を通り、14時過ぎに草壁港に到着した。草壁

バス停で待っていると日帰り組の元気な 4 人がバスから降りてきて再合流。16:15 草壁発フェリーの時間まで余裕があるので、バスでマルキン醤油に寄り道して、橘集落にデポした車を回収し、16:30 土庄港発フェリーで帰路に着いた。



猪谷池分岐

バス停があります。